

令和7年度第1回豊明市地域公共交通会議 議事録
 (豊明市地域公共交通活性化協議会合同会議)

日 時 令和7年8月6日(水) 午前9時40分から午前11時40分まで
 場 所 豊明市役所新館4階 第1委員会室
 出席者 22名

名鉄バス(株) 上原委員	豊明市心身障害者(児)福祉団体連合会 尾崎委員
東名交通(株) 住田委員	国土交通省中部運輸局愛知運輸支局 原田委員
(株)豊明交通 大澤委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 川畑委員
(株)あんしんネットなごや 天野委員(代理 正木氏)	愛知県交通対策課 石屋委員(代理 竹之内氏)
名古屋タクシー協会 野田委員	愛知警察署交通課 吉田委員(代理 小野田氏)
愛知県バス協会 小林委員	名城大学理工学部 松本委員(会長)
名古屋市交通局路線計画課 根岸委員	豊明市健康福祉部 塚本委員
名古屋鉄道(株) 高井委員(代理 梶村氏)	刈谷市都市政策部都市交通課 都築委員(代理 安田氏)
市民公募 前田委員	東郷町公共交通対策室 木本委員
豊明市老人クラブ連合会 奥村委員	大府市都市整備部都市政策課 竹嶋委員
豊明市民生児童委員 村山委員	(株)アイシン 鈴木委員

欠席者 2名

愛知県尾張建設事務所維持管理課 加藤委員	豊明市経済建設部 星子委員
-------------------------	------------------

事務局 豊明市役所 行政経営部 企画政策課

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有(5名)

議 事

【協議事項】

- (1) 令和6年度事業報告及び歳入歳出決算報告について
- (2) 令和6年度豊明市地域公共交通計画の評価等について
- (3) 地域公共交通調査事業について

【報告事項】

(1) ひまわりバスデザインの募集及び選定方法について

議事内容

※内容(要旨)では、チョイソコとよあけを「チョイソコ」と記載しています。

1 会長あいさつ

**2 委員変更報告
委嘱状机上配布**

3 議題

【協議事項】

(1) 令和6年度事業報告及び歳入歳出決算報告について(資料1)

【事務局説明】

【委員】

・令和7年1月から大脇地区でチョイソコの実証運行が開始となり半年が経過したが利用状況などはこの会議で報告されますでしょうか。

【事務局】

・現状について報告させていただきますと、チョイソコの会員約2,600名のうち、大脇地区の登録者数は187名となり他の地区と比べて多いというようことはありません。利用回数を見ますと、大脇地区は栄町という字単位での計上になりますが253回となっています。沓掛エリアは約1,200回、間米前後エリアは1,500回の利用があり大脇地区の利用はまだ多くないという現状です。利用の多い停留所としては、喫茶店、公園、曹源寺が多いと把握しています。他の地区への影響や予約の不成立状況などの詳細は次回の交通会議で報告させていただきます。

【会長】

・大脇地区の実証運行により他のエリアに影響はなかったでしょうか。

【事務局】

・1月から7月の実績について昨年の同時期と比較してみますと、チョイソコ全体の利用回数が減っているため、他の公共交通には影響はないとだろうと捉えています。

【会長】

・ひまわりバスが1台新しくなり、心機一転明るくなった印象を受けます。また、前後駅のバス待合所では他市の広報などの情報も配架できるとのことなので積極的に活用していただきたいと思います。

(2) 令和6年度豊明市地域公共交通計画の評価等について(資料2)

【事務局説明】

【会長】

・公共交通全体の利用者数を見ますと、現状値が約1,300万人に対して目標値は約1,500万人となっており、達成は難しいように思いますが事務局としてどのように思いますか。

【事務局】

- ・策定時はコロナ禍だったこともあり、利用者数はコロナ前の数値に戻すことに加え、将来人口が増加する見込みで目標値を設定しておりました。しかしながら、コロナ禍以降、オンラインの普及等による生活スタイルの変化が公共交通全体に影響しており目標値の達成は難しいのではないかと感じています。次の計画では、新しい生活スタイルを踏まえた利用促進を検討する必要があると考えています。

【会長】

- ・コロナ禍以降の状況は全国的にも同様であるが、他市では観光客など外国人の利用者については増加が見込める部分もあると思いますので、諦めずに利用促進に努めていただければと思います。

【委員】

- ・豊明市にも立地適正化計画があると思いますが、まちづくりとの連携事業や今後の取り組みについては何かありますでしょうか。

【事務局】

- ・現在、本市の都市計画課が立地適正化計画も含めた形で、新たな都市計画マスタープランの策定を進めています。交通計画も新たに策定するタイミングとなっていますので、計画を策定する段階においても連携を密に取りながら、まちづくりと交通の両輪で取り組みを進めていきたいと思っています。

(3) 地域公共交通調査事業について (資料3-1～資料3-5)

【事務局説明】

【委員】

- ・市民アンケートの5ページに公共交通で行きたい施設についての設問があるが、番号を書けば良いのか読み取りづらいと感じました。4ページの不満・やや不満であった場合改善点等を記載するようになっているが、誰に対してのことを書けば良いのか分かりづらいのではないのでしょうか。また、西暦と和暦が混在しているのは何か意図があるのでしょうか。

【事務局】

- ・デザインについては、アンケート発送までにコンサルと協議しながら検討させていただきます。表記については、西暦で統一するよう修正します。

【委員】

- ・チョイソコの利用者アンケートについて、先程の説明で登録者は約2,500と仰っていたが、配布枚数が1,900枚となっているのは選ばれるということでしょうか。

【事務局】

- ・利用者アンケートの想定配布枚数は、実際の発送枚数を記載させていただいています。チョイソコ会員のうち夫婦で登録している場合、発送枚数は1通となるため枚数が1,900枚となっています。全会員にアンケートをお願いすることになります。

【会長】

- ・80歳以上のタクシー券について、既存のチョイソコ利用者がタクシー券があることによってタクシー利用に流れたかどうか分かるような設問があると良いのではないのでしょうか。また、市民アンケートについては設問項目が多く答えづらいように感じます。バス利用については別途利用者アンケートも実施するので、市民アンケートはもう少し簡潔にしてみても良いのではないのでしょうか。また、行きたい施設については、アンケートとは別に1枚豊明市の地図を同封し、自由に路線図を描いてもらうのも新たなアイデアが生まれ面白いかもしれません。

【事務局】

- ・80歳以上のタクシー券によってチョイソコ利用者によどのような影響があったか把握できるような設問は検討させていただきたいと思います。地図の同封につきまして、今回市民アンケートを紙とWEB回答の併用を想定しておりまして、集計やWEBでの回答が難しくなることから、11月に実施予定の地域懇談会などで路線図を作成してもらう方法を取り入れてみたいと思います。

【委員】

- ・市民アンケートの重要度満足度の項目にある安く移動できることについて、誰しもが安いと良いと思うが、この項目を入れた意図をお伺いしたい。

【事務局】

- ・重要度満足度の項目の意図としては、市民の中には遠回りしてでも安く移動したいのか、高くても良いから早く行きたいのかといったところを深掘りして調査をしたいと思っています。

【会長】

- ・重要度だけ聞くと全部高いと出てしまうため、その中でも特に重要な項目について順位付けをしてもらうと差が出るように思います。以前私が調査したときは、希望の場所や時間に行けることが上位で、安く行けることについてはそんなに重要ではなかった覚えがあります。

【委員】

- ・バス利用者アンケートの渡し方など実施方法について確認させていただきたいです。また、バス乗降調査の際にお渡しする調査カードについては、チョイソコも名鉄バスやひまわりバスの乗り継ぎを考えて制度設計をしているため、④乗り継ぐ公共交通機関の回答にチョイソコを入れていただくことは可能でしょうか。

【事務局】

- ・アンケートは調査員がバスに乗るので直接手渡しさせていただき、降りる時に回収することで回収率100%を目指します。アンケート調査票は後日郵送してもらう回答方法になるため、回収率は半分ほどを想定しています。調査カードの回答項目については、枠の上限があるため検討させていただきます。

【会長】

- ・調査カードで、その他と回答したとしても、バス利用者アンケートでは乗り継ぎの項目にチョイソコが入っているのである程度捉えられるのではないかと思います。また、チョイソコ登録者アンケートでも乗り継ぎについて聞いていますので、枠の関係で難しいようであればこのままでも問題ないのではないのでしょうか。

【委員】

- ・調査カードでは年齢区分が他のアンケート項目に比べて少ないことと、29歳以下という括りで聞きますと、学生か社会人かで移動の状況が違うと思いますのでもう少し細分化しても良いのではないのでしょうか。また、市民アンケートは無作為抽出とのことですが、若者の意見をより取り入れるための工夫はされますでしょうか。

【事務局】

- ・年齢区分については枠の上限があるため検討させていただきたいと思います。また、無作為抽出の方法については、人口比率と合わせながら、調査として有効な回収数を確保できるように若者の回収率を見込んで配布数を多めに設定します。

【会長】

- ・調査カードについては、目的とセットで見ることによって学生かどうかは判断できると思うのでこのままで良いと思います。ただ、公共交通の利用は高校生が結構多いので、高校生の動きも捉えられると良いかもしれません。市内の豊明高校と星城高校

の学生は、特に雨の日などどのように通っているのでしょうか。

【事務局】

- ・豊明高校の学生は前後駅から宿までひまわりバスで行き、宿の停留所から学校までは徒歩で通っている方もいらっしゃる。また、名鉄バスは下高根の停留所があるので早めの時間帯にはなるが利用している学生もいるかもしれません。星城高校については大府市のふれあいバスが通っていますので、利用しているかもしれません。

【会長】

- ・高校生はWEBで回答できるので高校生アンケートを実施してみても良いかもしれません。

【事務局】

- ・豊明高校からは、丁度交通について問合せがあったところでございます。名鉄バスさんも合わせて打合せをする予定となっておりますので、直接要望を伺い、また案件によってはこの会議で報告させていただければと思います。

【会長】

- ・高校生はほとんど自転車を利用していると思うが、今後ヘルメットの着用義務が強化されていくことを踏まえると新たな交通機関があると良いと思います。高校生が学校に通いやすくなることは行政にとってもプラスになると思いますので、直接要望をお伺いすることなので、是非検討していただければと思います。

【事務局】

- ・アンケートについて、その他ご意見等ございましたら8月15日（金）までにメールや電話等でご連絡ください。

【報告事項】

(1) ひまわりバスデザインの募集及び選定方法について（資料4）

【事務局説明】

【会長】

- ・小中学校にはすでに案内しているとのことですので、交通会議に参加されている皆さまも、もし知り合いで小中学生がいれば是非声掛けしてください。

4 その他

【会長】

- ・名鉄グループでは、夏休み期間となる8月から9月までこどもmanacaを利用すると代金の一部がポイントで戻ってくるこどもmanacaおでかけキャンペーンを実施しています。そういったチラシも前後駅待合所に掲示すると利用促進につながりますので是非掲示していただければと思います。それでは、最後に市民代表の委員の皆さまから一言ずつ頂戴したいと思います。

【委員】

- ・秋まつりではひまわりバスが無料になると思いますが、まつり当日は料金をいただいて、次回無料券をお渡しすることで利用者増にもつながると思いますのでご検討ください。

【委員】

- ・老人クラブでは月1回班長会を実施し意見交換をしています。その時、よく足がなくて班長会に参加するのも大変という意見があります。また、豊明高校付近は交通

難民も多く、免許返納後は足がなくて困っている人も多いです。チョイソコがあるが、予約が面倒で利用につながらないことも多いので、予約がしやすくなるともっと利用が増えると思います。

【委員】

- ・チョイソコの予約は電話またはWEBでできるが、WEBも操作が難しいとの意見があるため、今後予約のしやすさ向上に向けて検討していきたいと思います。

【委員】

- ・タクシーも、70歳以上は登録すれば1割引きと80歳以上のタクシー券も利用できるので、チョイソコより利用料金は高いですが、是非タクシーも使っていただければと思います。

【委員】

- ・80歳以上のタクシー券は、民生委員から地域への浸透はまだまだだと実感しているので、民生委員としてもPRしていきたいと思います。

【委員】

- ・80歳以上の人口からタクシー券の利用率を見ますと約30%です。高齢者ですから施設に入っている方もいますので100%にはなりません、引き続き周知に努めたいと思います。

【委員】

- ・チョイソコやタクシー券などの利用方法について、老人クラブや障がい者など人が集まっている場所で説明するのが一番利用者増加につながると思います。

以上